

表計算入門

「表計算入門」のトレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

表計算

表計算はビューの取得結果で行います。ここにはカテゴリ別の売上の合計が表示されています。実際の売上高ではなく合計に対する割合を把握するにはどうすればいいでしょうか？

- 合計 (売上) フィールドを右クリックして [簡易表計算] > [合計に対する割合] の順にクリックします。
- これで値がパーセンテージに変換され、テクノロジーが全体の売上の約 37.5 パーセントを占めていることがわかります。

表計算はデータベースを使用せず、Tableau によりローカルで行われます。表計算は、ビューに表示されるデータのみに基づき実行されます。これはフィールドセットとも呼ばれます。

フィールドセット

ビューの参照元のデータ表 (よって「表計算」) には、マークを構成する情報が含まれています。クロス集計を利用した場合、データがそのまま表示されます。他のビューでは、参照元データはさまざまな形で表示されますが、表示されている値そのものはクロス集計の値と同じです。

このような、ビューを定義するすべてのフィールドで構成されたデータ表を、フィールドセットといいます。

- このビューでは、フィールドセットに「カテゴリ」、「顧客区分」、「数量」が含まれています。それらすべての要素でビューに表示されるバーの内訳と長さが決まります。
- フィールドを追加や削除してビューを変更すると、フィールドセットが変更され、その結果表計算も変わります。

簡易表計算

Tableau では、一般的な計算の多くが表計算として扱われます。簡易表計算は、特定のビューに適用できる簡単なワンクリックオプションです。

例えば、経時的な利益の累計を求めたいとします。この例では、ビューにオーダー日付による月ごとの利益が表示されています。

- 利益を右クリックして [簡易表計算] > [累計] の順に選択することで、簡易表計算を追加できます。
- その結果、非常に安定した利益の増加が見られます。すばらしいですね。

この計算を頻繁に利用したい場合、表計算のフィールドをデータペインにドラッグして計算フィールドとして保存すると、今後簡単に利用できます。

手動の簡易表計算

表計算は他の計算と同様に計算エディターでも作成できます。通常この方法は簡易表計算の利用できない表計算に用いますが、2 つの方法を比較するために今度は手動で累計を計算してみましょう。

- データペインで右クリックし、[計算フィールドの作成] を選択します。
- 「累計」という名前を付けます。
- 関数タイプを表計算に変更すると、表計算の長いオプションリストが表示されます。繰り返しになりますが、これらの関数はビューを構成するフィールドセットに実行されます。
- [RUNNING_SUM] をクリックします。

- 「利益」のみを入力するとエラーが発生するので、集計が必要になります。
 - ビューで、簡易表計算は合計利益フィールドに実行したことを思い出してください。
 - 表計算を手動で行うときには集計を指定する必要があります。
- [利益] を [SUM(利益)] に変更することでエラーが解決されます。
- この計算を行シェルフにドラッグすると、簡易表計算と同じ結果が得られます。

まとめ

「表計算入門」のトレーニングをご視聴いただき、ありがとうございます。引き続き「表計算の編集」のトレーニングビデオをご覧ください。